

# 京都創生

KYOTO SOUSEI

創京  
生都

第4号

## 日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。



### 【特集】オール京都の連携で“ほんまもの京都”を発信 「京あるき in 東京 2011 ～恋する京都ウィークス～」を開催

#### ■99の企業・団体・大学等が参画し、50の催しを展開

京都市、京都商工会議所、(社)京都市観光協会、京都創生推進フォーラムでは、平成23年2月8日から22日までの15日間、首都圏で、京都ゆかりの様々な催しを集中的に展開する「京あるき in 東京 2011～恋する京都ウィークス～」を開催しました。

この取組は、京都の美しい自然や都市景観、伝統文化などを、京都だけでなく国を挙げて守り、育て、未来に引き継いでいく「国家戦略としての京都創生」の取組をPRするために実施するものです。

2月8日・9日のオープニングイベントを皮切りに、京都ゆかりの99の企業や団体、大学等がトークイベントや講演会、観光キャンペーン、展覧会、物産展、協賛店での特別メニューやプレゼント提供など、京都ならではの50の催しを実施。各会場を訪れた多くの参加者に、東京にいながら“ほんまもの京都”との出会いを楽しんでいただきました。



オープニングイベントで挨拶する主催団体（左から、加藤盛司京都市会議長、門川大作京都市長、柏原康夫(社)京都市観光協会会長、齋藤茂京都商工会議所 京都ブランド推進特別委員会委員長）



“京のおもてなし”に迫るパネルディスカッション  
(京都ブランドフォーラム in 東京)



京都の魅力と未来について語る京都創生  
トーク(オープニングイベント)



東京で京都東山花灯路を再現  
(花灯路 in 椿山荘)

#### ■今後もオール京都の連携で取組を推進

今回は、オール京都の連携で、効果的、効率的に京都の魅力や現状について発信することができました。今後も首都圏をはじめ、全国の皆さんに「国家戦略としての京都創生」の取組を理解し、応援していただけるよう、京都を愛する皆様との連携を更に深め、取組を進めていきます。

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

## 「京都創生推進フォーラム連携支援事業」対象事業紹介

京都創生推進フォーラムでは、会員の皆様と連携し「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた取組を推進することを目的に、その趣旨に沿った事業を支援する「京都創生推進フォーラム連携支援事業」を実施しています。

ここでは、平成22年度の対象事業として実施されたシンポジウム2010「京都の街の景観を考える」をご紹介します。

### 事業紹介

## シンポジウム2010「京都の街の景観を考える」

街の色研究会・京都

### 企画趣旨

住む人、訪れる人にとって歴史文化都市・京都の景観はどうあるべきかを、景観の基本的な要素である色彩の側面からと、都市景観を表現している屋外広告物の側面からと、2回にわたって考察し、討議しました。

### 第1回シンポジウム「京の街の色」

- ◆開催日 平成22年10月30日(土)
- ◆場所 京都市勧業館みやこめっせ(京都市左京区)
- ◆参加者 115名
- ◆内容 京都の都市景観について、景観形成の基本的要素である色彩の在り方を通じて考察し、討議しました。

### 第2回シンポジウム「京の街の屋外広告物」

- ◆開催日 平成22年12月11日(土)
- ◆場所 京都市勧業館みやこめっせ(京都市左京区)
- ◆参加者 121名
- ◆内容 京都の伝統的な町並みと現代の情報メディアの一つである屋外広告物とは、いかに共存できるのかを、多面的に論議しました。



### ひとこと

街の色研究会・京都は、会創立後20年にわたり京都の都市景観を色彩の側面から調査、考察、論議してきました。今般のシンポジウムには、全国から多くの方々に参加されました。京都は常に景観についての先進性を保持していかねばと痛感します。これからも、京都の都市景観の保全やまちづくりのルールを探るべく活動していきたいと思えます。

## 京都創生トピックス

### 法観寺とその周辺地域を火災から守る！

全国初

## 文化財延焼防止放水システム 運用開始

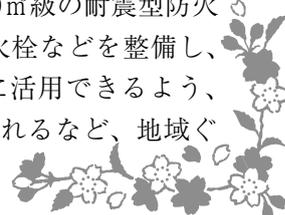
京都市はこのほど、国の重要文化財であり、八坂の塔として知られる京都市東山区の法観寺に文化財延焼防止放水システムを設置しました。

このシステムは、周辺地域で火災が発生した場合、法観寺境内の複数の噴霧ノズルから放水して高さ約10mの水幕を作り、法観寺への延焼を防ぐものです。

京都市では、貴重な文化財といのちを火災から守るため、文化財が集積する東山区清水地域で、地域ぐるみで防災力を強化する「文化財とその周辺を守る防災水利整備事業」を進めており、文化財延焼防止放水システムはその一環として整備したものです。

こうした取組は全国初であり、このために創設された国の補助制度を活用して整備を進めてきたもので、京都創生の取組の成果が形になった事業といえます。

同事業では、これまでに高台寺公園と清水寺境内に1,500㎡級の耐震型防火水槽を設置したほか、誰もが容易に使用できる市民用消火栓などを整備し、運用を開始しています。また、これらの防災設備を有効に活用できるよう、地域コミュニティの連携を図るネットワーク組織が構築されるなど、地域ぐるみのソフト対策が進められています。



# 第15回京都創生連続セミナー

京都創生推進フォーラムと京都市では、「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた市民の皆様の自主的な活動を推進するために、景観・文化・観光分野の専門家から、京都の魅力や素晴らしさ、課題などを聞き、京都への理解を深める、京都創生連続セミナーを開催しています。

第15回セミナーでは、京都の近代和風建築に関するお話を通して、京都独自の近代化の本質について考えました。



## 「近代和風建築」と伝統の継承 ～未来につなごう日本の心～

開催日：平成22年12月11日（土）

会場：京都会館会議場

講師：中村 昌生 氏（京都工芸繊維大学名誉教授）

○プロフィール

1927年生まれ。京都工芸繊維大学名誉教授。福井工業大学名誉教授。京都市文化功労者。長年にわたり、茶室や数寄屋建築等の研究・創作を続ける。また、伝統建築技術の振興や建築文化の発展に貢献することを目的とした、(財)京都伝統建築技術協会の設立に携わり、現在は理事長を務める。著書に『茶の建築』『京の町家』『茶匠と建築』『数寄屋古典集成』などがある。

### ■世界に誇る近代和風

私は近代の和風建築にとって重要な役割をした茶室の研究を長くしてきました。近代の邸宅や山荘の建築は素晴らしく、この和風こそ誇るべき日本建築の作品であり、未来につながなければいけないものだと確信しています。着実に伝統を受け継ぎながら、しかも近代化も成し遂げながら続いてきた木造技術が近代和風です。そして、匠たちの技術を活用して近代和風の花を咲かせたのは、明治以降に登場した新しい政財界の実力者・富と教養を備えた文化人たちです。そういう人たちが営んだ邸宅・山荘は、今でも、この京都に多数残っています。



### ■町家大工にみる匠の技

これらの山荘建築には住宅一般をつくる町家大工が招かれました。日本の大工ほど木を知り尽くした人はいません。日本が古来からずっと木造建築に終始してきた経験から、木を見て、その木のいいところ、美しいところ、あるいは強さを巧みに操る技術をつくり上げたのです。

ところが、戦後、早く、安く建てるのが市場の目標になり、大工の技術は混乱を来しました。そのうえ当時の建築行政では、簡易住宅をつくるのが中心になり、伝統的な工法は無視されました。平成17年に改正された「建築基準法」では、和風建築のデザインはほとんど不可能になりました。もう京都の町家のような呼吸する快適な和風住宅はできないのです。京都では感じませんが、地方へ行くと、どこに日本の家があるのかと思います。農村へ行っても農村らしい家がないのです。すっかり日本の景観は変わってしまいました。

### ■庭屋一如を未来へつなぐ

それだけに、京都の町並みは守らなければなりません。その守り方は、昔のまま凍結することではありません。建て替えることも必要でしょう。どういう町家に建て替えるかが大事なのです。新しい町家の姿は、京都人の暮らし方、思想を表すようなものでないといけないと思います。

そういうことで、私は、何としても近代和風の世界で充実した木造の建築技術を未来へつないでいきたいと考えています。そうしないと建築、住宅の問題だけでなく、日本の伝統文化が廃れていくと思うのです。日本の木造住宅は、大地とともに、自然とともに生きる姿勢でつくり続けてきたものです。庭と建物が共存する建築、これが近代和風を貫く哲学なのです。その哲学を私は「庭屋一如」と表現しています。当時の大工技術の粋を見せた近代和風の建築、この「庭屋一如」が日本の歴史を貫く崇高な伝統です。こうした家づくりを捨て、皆が呼吸しない家に住むようになったらもう絶望的です。心や感性まで次第に日本離れしていくのではないのでしょうか。そういう危機感を、私は切実に感じているのです。



# イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
関原紫水・紫光京人形展	多くの方に京人形の良さ、伝統工芸の良さを紹介していく展覧会です。	開催中 4/3(日) 10:00~18:30 (入館は18:00まで)	横浜人形の家 (横浜市中区山下町18)	大人 800円 子供 200円	不要	横浜人形の家 企画広報展示マネージャー (045-671-9361)
開館2周年記念「生誕100年 人間国宝 羽田登喜男の世界」	ダイアナ妃の着物を染めた人間国宝・故羽田登喜男の染色の展覧会	開催中 3/20(日) 10:00~17:00	中信美術館 (京都市上京区下立売通油小路東入西大路町136-3)	無料	不要	財団法人中信美術奨励基金 (075-223-8385)
「古渡更紗展」	茶の湯で大切に遺されてきた更紗を展示しています。	開催中 5/31(火) 10:00~17:00	鈴木時代裂研究所 (京都市中京区丸太町通室町西南角)	500円	要	鈴木時代裂研究所 (075-231-2496)
京都定期観光バス 京都・東山花灯路コース	ライトアップされた京情緒たっぷりの東山界隈を散策。夕食付。	3/12(土) 3/21(月・祝)	京都駅烏丸口のりば 17:30 所要時間 約4時間	大人 5,250円 (夕食付)	要	京都定期観光バス予約センター (075-672-2100)
青蓮院夜の特別拝観 ライトアップ	花灯路に協賛し、境内ほぼ全域をライトアップします。	3/12(土) 3/21(月・祝) 18:00~21:00 (受付終了)	青蓮院 (京都市東山区粟田口三条坊町69-1)	800円	不要	青蓮院 (075-561-2345)
高台寺・圓徳院 春の夜間特別拝観	ねねの寺。ライトアップされた桃山時代の庭に広がる幽玄な世界。	3/12(土) 5/8(日) 17:00~21:30 (受付終了)	高台寺一帯 (京都市東山区高台寺下河原町526)	高台寺: 大人600円 圓徳院: 大人500円	不要	高台寺 (075-561-9966)
伝統産業の日 in みやこめっせ ふれあい館まつり/ 技の体験教室	京都の伝統工芸職人の製作実演や、各種体験教室を開催します。	3/19(土) 3/21(月・祝) 10:00~16:30 (最終日は16:00)	京都伝統産業ふれあい館 (京都市左京区岡崎成勝寺町9-1 京都市勧業館内)	体験教室は有料 (参加教室により別額500円~6,500円) 体験教室は事前予約制2月より募集開始先着順)		財団法人 京都伝統産業交流センター (075-762-2670)
京都府出身2010年度 卒業生による新人演奏会	京都府出身で全国音楽大学の2010年度卒業生による器楽・声楽等のクラシック音楽の演奏会	3/26(土) 18:00~21:00	京都府民ホール アルティ (京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1)	無料	不要	京都音楽家クラブ (077-534-2937)
法然上人八百回忌特別展覧会 法然 生涯と美術	浄土宗の開祖・法然の大回顧展、ゆかりの品が一堂に!	3/26(土) 5/8(日) 9:30~18:00 (金)は20:00まで開館 (入館は開館の30分前まで)	京都国立博物館 (京都市東山区茶屋町527)	一般 1,400円 大・高 900円 中・小 500円	不要	京都国立博物館、NHK京都放送局 NHKプラネット近畿、京都新聞社 京都国立博物館 (075-525-2473)
東福寺塔頭勝林寺 春の限定体験「悠然」	京都でも隠れた桜の名所勝林寺(通常一般非公開)にて秘仏毘沙門天ご開帳の特別拝観と坐禅を体験。	4/1(金) 4/24(日) 平日13:30~ 土日15:00~ 所要時間60分	東福寺塔頭勝林寺 (京都市東山区本町15-795)	お1人 2,000円 抹茶と菓子付 (限定30名・ 最小遂行人 数1名)	要	東福寺塔頭 勝林寺 (075-561-4311) <a href="http://shourin-ji.org/">http://shourin-ji.org/</a>
仁和寺霊宝館春季名宝展	国宝阿弥陀三尊像を始め、仁和寺に伝わる宝物を多数公開します。	4/1(金) 5/22(日) 9:00~17:00 (入館は開館の30分前まで)	仁和寺霊宝館 (京都市右京区御室大内33)	大人 500円	不要	世界遺産 仁和寺 (075-461-1155)
社団法人 新興展	日本画のみで会員と一般公募の作品。大作品中心に170点展示。	5/24(火) 5/29(日) 9:00~17:00	京都市美術館 (京都市岡崎公園内)	大人 500円 大・高・中 300円	不要	社団法人新興美術院・京都支部 (0773-22-4490)

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。  
(お詫び) 発行の遅れにより会員の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」

発行日 平成23年3月11日

発行 京都創生推進フォーラム (事務局: 叻京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)